

紀きの温湯いでゆに幸いでます時ときに、
額田王ぬかたのおほきみの作つくる歌うた

九番

紀きの国くにの山越やまこえて行ゆけ

我わが背子せこが

い立たたせり

けむ
巖櫃いつかしが本もと